

会長挨拶

佐藤修朗 会長

皆様、こんにちは。暑い日が続いていましたが、最近はやや少しく涼しくなってきました。これから食欲の秋、行楽の秋の良い季節がやってくるなと思っております。世の中的には世界陸上が真盛りで、東邦銀行の選手がお二人出場され、井戸さんが今晩200mで準決勝に進まれるということで、良い成績を収めて頂ければと思います。スポーツの秋ですが、今日の卓話は尚志学園サッカー部の仲村浩二先生です。先生と奥様のお二人で福島県のサッカーのレベルを上げるということで、長年に渡りご努力して頂いています。



◎本日はご多忙の中、中村先生には卓話をお引き受け頂きありがとうございます。本年度の選手権が楽しみです！早乙女さん、残念です。どうぞお元気で！

伊野泰司君

◎仲村先生の卓話を楽しみにしております。

有賀隆宏君、高橋裕一君、石井祐一君

◎仲村先生、お正月応援してます。頑張ってください。東邦銀行陸上部、松本と井戸2名が世界陸上に出場してます。今夜、井戸が200m準決勝に出ますので、皆さん是非応援をお願いします。

金成 倫君

◎今日も元気で出席です。

林 誠君

◎いつもニコニコありがとうございます。

鈴木正晃君

退会会員挨拶

日本たばこ産業(株)

福島支社 支社長 早乙女充宏君

この度、茨城県に転勤が決まり、この福島の地を離れることになりました。これまでの間、皆様には多大なるご支援とご指導を賜り心から感謝申し上げます。RCの活動を通じ地域社会への貢献の大切さを学びましたし、多くの素晴らしい方々の出会いを頂きました。ありがとうございました。



プログラム紹介

平栗俊昭 委員長

本日は学校法人尚志学園尚志高等学校教諭・サッカー部男子監督の仲村浩二様より、お話を頂きたいと思います。監督は1972年6月30日生まれ、千葉県のご出身、習志野高校ではエースとして高校選手権に出場され、ベスト8に進出されています。日本高校の選抜にも選ばれています。卒業後、順天堂大学に進学され、大学時代にはバルセロナ五輪の予選の日本代表メンバーに選ばれており、五輪予選での日本人最年少ゴール記録保持者であります。尚志高校では97年の創部から指揮をとられており、2006年に全国高校サッカー選手権初出場、2011年に福島県勢としては初のベスト4、2019年の高校総体でもベスト4、今年のインターハイでもベスト4になってます。本当に手の届くところに全国制覇があり、それを目標に頑張っておられます。



幹事報告

伊野泰司 副幹事

テーブルに例会变更のお知らせがありますので、ご確認頂ければと思います。



職業奉仕委員会報告

佐藤 聡 委員長

9月13日(土)ユラックス熱海にて社会・国際奉仕委員会とロータリー財団委員会の合同セミナーが開催され、参加して参りました。社会・国際奉仕セミナーとしては、誰でもヒーローということと、内山順子理事長のセミナーが開催されました。午後は財団セミナーの補助金管理セミナーで、来年度の地区の補助金を使うためのセミナーが開催されました。



ニコニコBOX委員会報告

鈴木正晃 委員長

◎仲村先生、本日は卓話ありがとうございます。

佐藤修朗君



ゲスト卓話

「続けることの意味」

学校法人尚志学園尚志高等学校
教諭・サッカー部男子監督

仲村浩二氏



今53才ですが、オリンピック予選最年少ゴール記録を19才16日でとったインドネシア戦のゴールがまだ記録として残っています。小2からサッカーを始めて、関東選抜のキャプテンをやったり、最後は福島FCで現役を引退した時に尚志高校に呼ばれて監督をやり始めることになりました。入って3年目で新人戦の福島県大会で優勝して、次もV2・V3と結構簡単に連勝してしまったので、僕も楽勝だなという思いがありましたが、そ

これから全国大会に出るまでに9年かかってしまい、福島県大会初優勝が2006年でした。それまでにサッカー部の監督を辞めよう、福島県から逃げようかと何度も思ったんですが、みんなの支えがあり2006年で初優勝できるようになりました。国立競技場に行けたのが2011年で、この時は放射能の影響で練習時間が限られてしまい、本気で生徒と取り組まなければいけないと話し合っただけでベスト4まで行けるようになりました。サッカーを評価されたのも嬉しかったんですが、この年は「癌になって本当はこのまま死んじゃおうかなと思ってたけど、お前らの頑張りをみて手術受けてみるよ」とか「私は子供が2人いて、お金がないから県外にも逃げられないと思っていた時に、尚志高校サッカー部が全国で頑張っているのが本当に嬉しかった」という手紙を頂いた時に、勝つこともそうですが皆さんに勇気や希望を届けることができるんだなというのを知った震災の年でした。2016年に日本高校選抜のコーチでドイツ、アンダー 17日本代表コーチとしてチェコに遠征に行かせて頂きました。沖縄インターハイで3位、日本高校選抜2021年で監督になったんですが、ドイツ大会が中止になり、そのままスライドでもう1年監督をやらせて頂き、ドイツ大会で優勝することができました。今年はまた3位まで行くことができました。

最初尚志高校に行った時、9人居ると聞いていたのに遅刻する人がいてミーティングで3人ほどしかいなかったり、グラウンドも緑だったので天然芝だと思ったら、ただの雑草だったり、これは騙されちゃったなと思ったんですけど、どうせやるならゼロからの方がいいかなと思って始めました。そこから初出場までに9年かかってしまいました。自分が天狗になったり、サッカーだけしかやらせなかったかなということがあって、サッカーだけというところから学校に応援されるチームになるんだと、竹ぼうき持って正面玄関を掃いたり、自転車置き場の整備をするようになって、当たり前なことを当たり前に行えるようになってやっと初めてこういう形で優勝できたというのが思い出に残っています。第90回の全国大会で3位になった時には、応援されるチームを作るんだということで、初めて全校応援してもらい感謝しました。埼玉スタジアムでは、キーパーからボールを繋いで一回も青森山田の選手に触られないでゴールまで持っ

て行ったのが有名になって、そのゴールに憧れた子たちが入学してくれるようになりました。一昨年はプレミアリーグ2位、沖縄インターハイで3位、今年の福島県インターハイで3位になりました。こういう形で成績は残せるようになってきて、優勝が届くところになって来たんですが、初めて青森山田と戦った時に、「どうして勝てないんだ。根性がないから勝つことに執着しないよな」と色々言われたんですけど、そこは反論する気もなく「勝つことよりも成長することの方が大事なんじゃないか」と常に生徒には言っているんで、成長の中で勝てればいいかなということで、勝つためだけにサッカーを教えるのは絶対に嫌だと思っていたので、一貫した指導をして行けないかということで尚志FCというジュニアユース(中学生)を立ち上げました。その後、尚志FCのジュニア(小学生)を立ち上げました。これは震災後すぐに立ち上げて、福島県の子供たちの遊ぶ場を作ろうということで毎週月・金・日にスクールとして取り組んでみました。その後、尚志高校女子サッカー部を立ち上げ、今では全国大会に出るような強豪校になりました。9人から始まったサッカー部が今現在はプロ選手やサッカーに携わるスタッフを輩出するチームになりました。

尚志高校サッカー部のスタッフ全員が必ず言っているのは「現状維持は絶対後退だ、今のままじゃ駄目なんだ。1mmでも1cmでもいいから前に進もう」ということで、うちのスタッフ全員で今頑張っています。24年、尚志高校でサッカーを教えるようになったんですけど、始めは何回も逃げ帰ろうと思ったけど、必ず一歩でも進んで行けば尚志高校でさえ変わって行けるんだなと思ったので、みんなで一歩ずつでも進んで行こうと思っています。

出席報告

丸山 弘 委員長

総員 / 108名 出席 / 49名 欠席 / 59名
出席率 / 45.37% 前回修正率 / 57.43%
他クラブ出席 / 6名



株式会社 小野屋

取締役社長 阿 部 和 博

〒963-8022 郡山市西ノ内2-10-32
TEL 024-953-6257 FAX 024-953-6258

阿部測量 株式会社

代表取締役 阿 部 充 宏

〒963-8014 郡山市虎丸町21-14
TEL 024-933-2585 FAX 024-922-5005

国際ロータリー2530地区 郡山ロータリークラブ

会 長: 佐藤 修朗 幹 事: 幕田 宙晃
例会場: 郡山ビューホテルアネックス TEL 024-939-1111
例会日: 木曜日
事務所: 〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大一ビル1階
TEL 024-923-0729 FAX 024-939-5678
郡山ロータリークラブウェブサイトはこちらから
<http://k-rc.main.jp/>



次回 第13回例会
令和7年10月9日(木)
会員卓話

「自己紹介」 三井住友海上火災保険㈱
福島支店 支店長 神谷憲昌君

編集責任者: 幕田 宙晃
副委員長: 大谷 宏明

編集: クラブ会報委員会 委員長: 酒井 良胤
委員: 綾 哲志・伊藤 基文・八角 洋



FSC® 森林認証紙使用



見やすく読み
ましがえにくい
ユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。